

議会だより

にしあいづ

No. 108

2010.2.1

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



1 2月議会定例会の内容は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
百歳100万円の祝金が30万円に・・・・・・・・・・・・ 2
4月から役場の課が再編！1課増・・・・・・・・・・・・ 3
ここが聞きたい！一般質問12人が登壇・・・・・・・・・・ 5
ミネラル野菜普及会武藤佐代子さんにインタビュー・・ 12

はい！ボクがとったよ！！（尾野本保育所 かるた大会）

老祝金支給条例案

会を設置し審議

一部訂正を求める！

12月定例会

訂正を求めた主な内容

結婚祝金・定住促進住宅の無償入居と選択制に
敬老祝金・医療費・介護費用の助成ではなく現金の定額支給を

結婚祝金支給条例(新設)

祝金の内容 - 10万円または定住促進住宅等の家賃6カ月分
対象者 - 西会津町に住民登録があり、結婚後も西会津町に居住する者
結婚後、3カ月以内に西会津町に居住し申請した者
ただし、いづれも夫婦のいずれかが50歳未満であること
開始日 - 平成22年4月1日

敬老祝金支給条例(改正)

祝金の内容 百歳で100万円の祝金の金額を30万円に変更
その他の支援 今年4月1日以降百歳になる方に医療・生活費支援として年間16万円支給
開始日 - 平成22年4月1日

出産祝金支給条例(改正)

祝金の内容 3人目の子どもが生まれた時50万円支給していた祝金を、生まれた時20万円、2歳の誕生日10万円、小学校入学時20万円に変更
開始日 - 平成22年4月1日

平成21年12月議会定例会を12月11日から18日まで、8日間の会期で開きました。提出された議案は、結婚祝金を支給する条例の制定、百歳で100万円を支給する敬老祝金条例の改正、役場の課を再編するための条例の改正、平成21年度一般会計補正予算など、15の議案が提出され、すべて原案のとおり可決しました。なお、結婚祝金と敬老祝金に関する条例案については、特別委員会を設置し、内容の審議と町側との協議を行い、それにより町側が議案の訂正を行ったものを原案のとおり可決しました。

一般質問では、議長を除く13名の議員のうち、12名が質問し、町の考えや対応を問いました。

結婚・敬

特別委員

町に内容の

年頭のごあいさつ

議長 大沼洋平

新年明けましておめでとございます。町民の皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたこと、心からお慶びを申し上げます。また、昨年は、皆様の「ご支援・ご協力」により、議員活動に精励できましたこと、厚く御礼申し上げます。

私ども町議会議員は、「町民の皆様」により密着した議会を目指し、「郷土にしいづ」のまちづくりのために、なお一層尽力してまいりたいと考えております。

どうぞ本年も、私ども町議会に対し、一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様の「ご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。



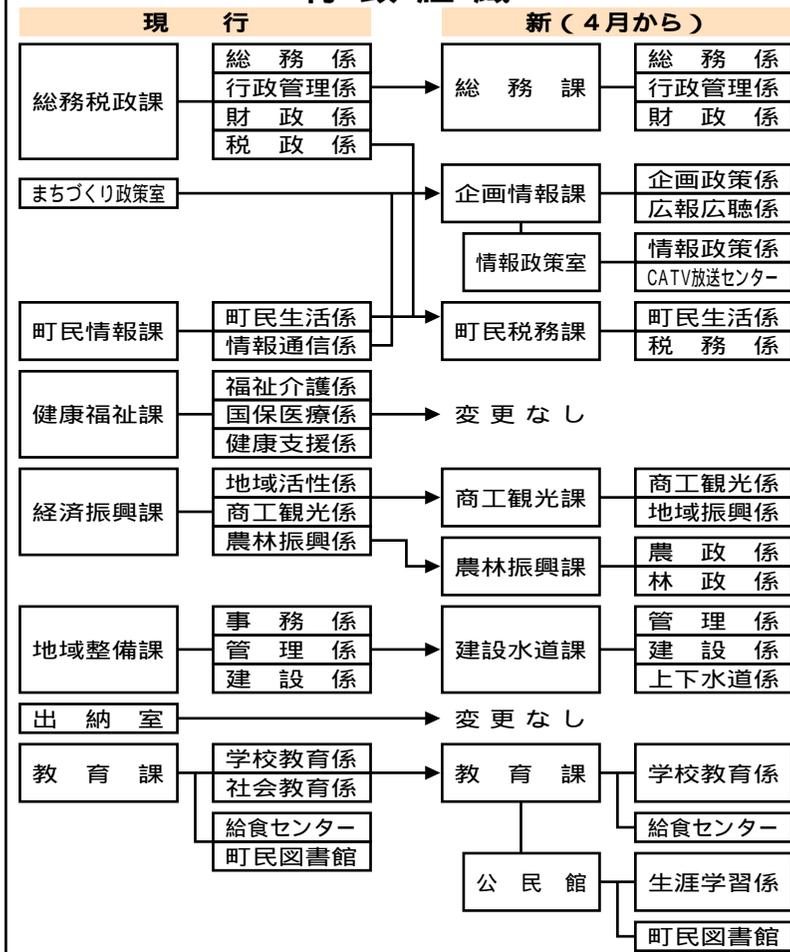
新年を祝して乾杯（新春交歓会）

保育所条例(改正)

内容 - 同年度に複数の子どもを保育所に預けている場合、3人目から無料としていた保育料を2人目からに変更

開始日 - 平成22年4月1日

行政組織



課設置条例(改正)

内容 - 「担当する内容が広すぎる課がある」、「課名がわかりにくい」などの問題を解決するため役場の課・係を左図のように変更

開始日 - 平成22年4月1日

問 新組織において、企画情報課の情報政策室、教育課の公民館に主幹を配置することだが、主幹と課長、課長補佐の違いは何か。

総務税政課課長
主幹は課長に準じる職としてその所管事項に決裁権を持つている。管理職手当も課長の7割程度支給する。議会の答弁は課長が行う。

問 主幹を配置するならば課にする方が責任が明確になり、仕事がつまいくのではないかと。

総務税政課課長
大課制のいいところである柔軟な人員配置を行えるようにするため、独立した課とはしなかった。

課長補佐との違いは、課長補佐には決裁権がないことである。

医薬品代支払いのため一般会計から国保特会へ2,928万円繰り出し

新・省エネルギービジョン策定事業等環境事業中止で1,603万円の減

補正 予算

補正予算の結果

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	4,129万円	56億4,225万円
下水道施設事業	100万円	2億1,686万円
国民健康保険 (診療所勘定)	2,928万円	5億3,337万円
介護保険	505万円	9億2,151万円

平成21年度一般会計補正予算では、4129万円を増額し、総額56億4225万円となりました。

主な内容は、診療所が医薬品代を支払うため必要となる2928万円の国民健康保険特別会計への繰り出し、町道野沢柴崎線の橋工事に要する経費566万円の追加、新・省エネルギービジョン策定

事業、バイオマスタウン構想策定事業、循環型社会形成調査事業の中止で1603万円の減額、国の政権交代で中止となった子育て応援手当の減額で502万円などです。

なお、国・県支出金で調整できなかった財源については財政調整基金（貯金）を充当しました。

議会臨時会

第8回議会臨時会

新型インフルエンザ 予防接種助成費を予算化

第8回議会臨時会を11月13日に開催し、3議案すべて原案のとおり可決しました。

主な議案の内容は次のとおりです。

一般会計補正予算

新型インフルエンザ予防接種の助成に必要な費用として1670万円を予算計上しました。

予防接種の優先接種者は基礎疾患のある方、妊婦、1歳未満の子どもの保護者、1歳から高校生まで、65歳以上の高齢者などとなっています。

町では、そのうち妊婦、1歳未満の子どもの保護者、1歳から中学生までとそれ以外で住民税非課

第9回議会臨時会

町職員・議員の給与引き下げ

第9回議会臨時会を11月25日に開催し、10議案すべて原案のとおり可決しました。

議案の内容は、国の人事院勧告や県の人事委員会勧告を尊重し、町職員や議員の給与等を引き下げるための条例改正とそれに関連した補正予算です。

この引き下げにより、総額でおよそ特別職が9万円、議員が36万円、一般職員で935万円の給与等が減額となります。

問 勧告に対し、町ではどのような検討をしてきたか。

町長 担当職員から本町のラ

税世帯の対象者を無料にし、助成します。

それ以外の優先接種者も1回千円で予防接種が受けられるよう助成します。

スパイレス指数（国家公務員の平均給与を100として地方公務員の平均給与を算定した指数）が95.3であるとの説明があり、それらを踏まえ検討した。

総務課課長

国の人事院勧告では改正が4月1日にさかのぼるのに対し、県の人事委員会勧告は12月1日からであった。どちらを採用するか検討した。その結果、県の人事委員会勧告を採用することにした。

おわびと訂正

2009年11月9日付け107号3ページの商業団地整備基金条例案否決記事の討論で「賛成 武藤道廣議員」とあるのは、反対 武藤道廣議員の誤りでした。おわびして訂正いたします。

町政のここが聞きたい 議員は問う 12人が登壇

こんな質問をしました（質問順）

多賀剛議員

緊急雇用対策について
町長交際費について
最近取り組んでいる施策について

目黒一議員

来年度の予算編成方針と重点施策は

荒海清隆議員

農政について
敬老祝金支給条例の改正について

青木照夫議員

平成22年度予算の編成について
道の駅での一般野菜の販売について
町道の整備について

五十嵐忠比古議員

観光案内板について
町政懇談会と町民提案制度について
国の政権交代による交付金等減額の影響は

清野佐一議員

基本計画について

渡部昌議員

総合計画について

佐野悦朗議員

総合計画について

武藤道廣議員

平成22年度予算の編成について
町長交際費について
結婚祝金等について

長谷沼清吉議員

町長就任後、今の感想は
マニフェストの実現について
新年度予算の編成について

長谷川徳喜議員

公約に対しての取り組みについて
新年度予算について
除雪対策について

清野興一議員

選挙公約実現の視点から来年度予算の編成方針は
選挙公約である福祉タクシーの運行について
自治区活性化施策について

問 町長就任後の感想は

答 職務の重要性と責任の重さを実感した

長谷沼 清 吉議員

問 町長に就任して4
カ月が経過したが、今の
感想は。

以降の無料化、特別敬老
祝金制度の見直し、商店
街街並み改善事業や町政
懇談会の実施に取り組む。

町長の職務の重要性と
責任の重さを改めて感じ
ている。9月定例会で表
明した所信を肝に銘じ、
町民や議員の皆さんに意
見や指導をもらいながら、
町勢伸展に努力して、町
民の負託に応えたい。

問 マニフェスト実現
についての考えは。

町長

マニフェストは4年の
任期中に実現し、成果を
あげていく考えである。
今現在実現しているの

は、黒塗り町長車の廃止、
町長交際費の公開、町民
提案制度の創設、町独自の
緊急雇用対策である。

今後は、結婚祝金制度
の創設、保育料の2人目



12月議会定例会で答弁する伊藤町長

問 町道下條線の整備予定は

答 来年度から地域との協議を行う

問 野沢8町内の町道下條線沿いには約20の世帯がある。

一昨年にも一般質問で指摘したが、その路線は道幅が狭く、消防車や救急車等の緊急車両の通行に支障がある。住民への安心安全対策が優先されるべきと考えるが、町長の考えは。

町長

この路線は通称おろくや団地内を通過する全長約270mの路線である。

8町内自治区から何度が道路整備の要望が出されており、事業の実施を検討したが、用地の取得ができず現在に至っている。

町では事業の実施に向け、国の道路交付金事業の5カ年計画に盛り込んでいる。事業の実施に向け、来年度から地域との

青木 照夫 議員



道幅が狭い町道下條線

協議を行いたい。

問 道の駅で販売する一般野菜はどのような商品名で販売するのか。

また、野菜の安全基準や販売方法は、出荷者や組合を作り自主的に決め、行政の関与は最小限にするべきと思うがどうか。

町長

商品は「一般野菜」という名称で表示し販売する。

出荷基準は、消費者に安心安全な物を提供していく責任が町にはあると考えている。なお、販売促進の工夫については、組織で自主的に行ってもらう考えである。

問 総合計画による10年後の町のビジョンは

答 町民の考えを基本に活力ある町を目指す

渡部 昌 議員

の理念に基づき、人材の育成、産業の振興による活力に満ちた魅力ある町、健康で安心して暮らせる町を目指す。

具体的な事業の内容や事業費については、10年間という期間で示すことは難しい。3年間の計画である実施計画で示す。

問 町長の交代により、総合計画案の内容が変更されたようだが、それま

で検討会議等で検討し作成した内容を変更してもいいのかが、変更したなら、その項目は何か。

町長

私の選挙公約とすり合わせをした結果、若干追加した項目があるが、大きくは変更していない。具体的には、加工施設の整備や福祉タクシーの検討を追加した。総合計画検討会議でも説明し、了承をもらっている。



活発に議論された総合計画検討会議

問 総合計画の基本構想案や基本計画案は、抽象的なことばかりで、年度別の事業名や事業費などの具体的な内容が示されていない。10年後の町のビジョンを示せ。

まちづくり政策室長

「みんなの声が響くまちにしあいづ」を基本構想の基本理念としている。つまり、まちづくりに町民の考えが反映することを意味している。こ

問 来年度の予算編成方針は

答 「町民との対話」などの基本理念に基づいて

目 黒

一議員

を基本理念に掲げた。これに基づき予算編成を行う。

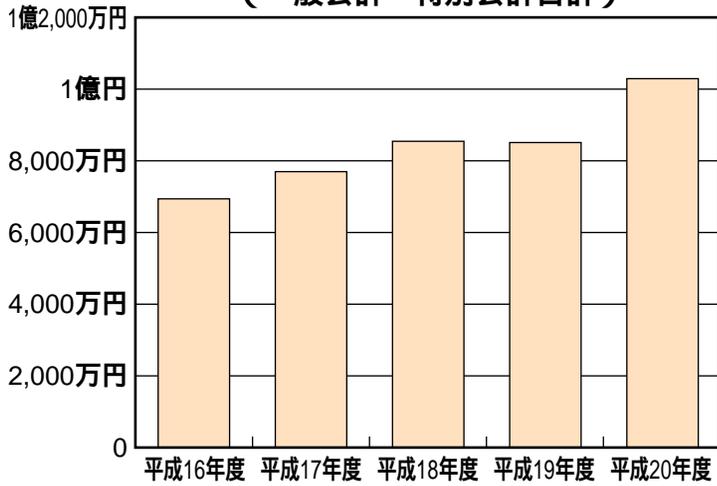
滞納への対応については、役場内部に税等徴収対策本部会議を設置しており、本部長として自らも努力する。

問 来年度の重点政策は何か。

町長 農林業の振興関連では、パイプハウスリース事業

を来年度も行う。一般野菜に対しても栽培基準等に合致すれば、その対象としたい。商工業の振興関連では、商業団地や街並み景観の整備等を通して商店街の活性化を図る。このほか、雇用対策、子育て支援、小学校の適正配置、交通弱者への対応、保健・医療・福祉の充実など町民生活に密着した事業に取り組む。

税・使用料等の滞納額の推移 (一般会計・特別会計合計)



年々増加傾向にある滞納額

町長 先般、来年度の町政執行基本方針を策定した。その中で、「町民との対話」、「地域経済の均衡あるまちづくり」、「みんなの声が響くまち」にしたい。

問 観光案内板の更新や新設の考えは

答 順次、計画的に整備する

問 町には、自然・史跡・名勝地など数多くの観光資源があるが、多くの人に知ってもらうには宣伝が必要である。現在の看板は老朽化し、見えにくくなっている。観光案内板の更新や新設の考えはないか。

町長 経済振興課長

観光案内板の修繕や書替え等の更新については、今までも行っており、今年度も2カ所実施した。今後その整備を計画的に行い、交流人口の拡大を図っていきたい。

問 町内5地区において町政懇談会を開催したが、町民から出された意見・要望はどのように町政に反映する考えか。また、町民提案制度で出された意見・要望についてはどうか。

町長

先に開催した町民懇談会は総合計画案への意見を聞くためのものであり、私がマニフェストに書いた町政懇談会とは別物である。その具体的内容については今後検討する。町政懇談会ですぐに実施できるもの、時間が



一部表示が見えにくくなっている観光案内板

かかるもの、予算が必要なものなどの意見・要望があると予想される。内容を十分精査し検討したい。町民提案については、私の指示のもと、担当課で内容を精査し、町政に反映できるものについては、実施する考えである。

五十嵐 忠比古議員

問 選挙公約への取り組みは

答 新たな定住や雇用を創出する

長谷川 徳 喜議員

問 (1) 若者の定住と過疎対策について、どのような施策で対応するのか。

(2) 重点施策の具体的な内容は。

(3) 新年度予算においては、イベント等の予算は極力削減し、高齢者の生活支援や若者の定住対策に取り組むような予算編成をすべきと思うかどうか。

(4) 高齢者にとって屋根の雪下ろしや家の前の除排雪作業は大変である。支援隊をつくり、弱者や高齢者対策をすべきであると思うかどうか。

町長

(1) 雇用対策や経済の活性化を最重要課題として力を入れている。

交流人口を増やし、新たな定住や雇用を創出するため、企業や交流推進

団体を支援する。

(2) 商業団地の有効活用や加工施設の整備、企業や事業所との連携と支援を行う。また、グリーンツーリズムを推進する。

(3) イベントの予算は今後見直し、高齢者対策や若者定住対策に重点をおいた予算編成をする。

健康福祉課長

(4) 除排雪作業が困難な世帯には、社会福祉協議会が除排雪協力員(339人)を組織しその作業の手伝いをしている。また、現在、町や社会福祉協議会が組織づくりを進めている見守りネットワークで今後は対応できる。町単独の助成については今後検討する。



若者の定住促進を

問 町民バスの未運行集落の解消を

答 新たな交通体系を検討する

武藤 道 廣議員

問 町民バスの未運行集落への対応と予算措置についての考えは。

経済振興課長

町民バス事業は、「幹線」とスクールバスの運行を主とする「枝線」との連携運行により実施している。利用者の利便性を高めるため、運行路線や運行回数などの見直し



全自治区で町民バスの運行を

作業を進めている。未運行集落の解消については、新たな交通体系の整備も含め検討する。

問 来年度予算の編成にあたり、重点事業と優先順位の決め方は。

まちづくり政策室長

重点事業とするのは、経済の活性化に寄与する

事業である。

優先順位の決め方は、基本的に事業効果を重視する。効果が高いものを優先的に実施し、低いものは中止や廃止をする。中止や廃止をすると支障が生じるものは一部修正を加え対応する。

問 さゆり公園をもっと全国にPRすべき

答 地域活性化の拠点として活用する

佐野悦朗議員

問 さゆり公園は町の宝である。さゆり公園は豊かな自然に囲まれ、診療所のほか、運動施設、保養施設、食堂等があり、子どもから大人まで一日楽しく過ごせる。全国に

誇れる施設だと思う。このさゆり公園を全国に発信すべきと思うがどうか。
町長 さゆり公園は私も町の最もPRすべき施設であると考えている。現在で



さゆり公園のPRを(ふるさとまつり)

もふるさとまつりや雪国まつり、なつかしカーシヨールなどのイベントで使用しているが、地域活性化の拠点としてさらなる活用を図っていく。

町長 地域をあげて体験型観光を推進するため、12月に「西会津元気グリーンツーリズム協議会」が設立された。会員は個人が23名、団体が11団体となっており、事務局を町振興公社においている。
今後は、この協議会を核としてグリーンツーリズムを進める。具体的には、観光資源を活用しながら、農業体験や文化活動体験、健康づくり体験

問 グリーンツーリズムの具体的な取り組みは
答 農業体験や文化活動体験など

清野佐一議員

問 総合計画案の内容について問う。

(1)グリーンツーリズムを推進するところがあるが、具体的にどのような取り組みを行うのか。

(2)農林産物のブランド化を推進するところがあるが、ミネラル農作物とは別にブランド化を考えているのか。

答 総合計画案の内容について問う。 (1)グリーンツーリズムを推進するところがあるが、具体的にどのような取り組みを行うのか。

経済振興課長

(2)ミネラル野菜は、よりつせでの販売に加え、大手スーパーとの契約栽培も始まり、ブランド化が図られてきている。また、げんき米についても

食味コンクールで高い評価を得るなどブランドとして定着してきている。一方、菌床シイタケなどブランドとなり得る農林産物が町にはまだある。さまざまな農林産物の産地化・ブランド化を推進する考えである。



都会の方々に好評 おとめゆり群生地(安座)

問 一地域一ふるさとおこし事業補助金の増額を

答 ある程度の規模で事業ができるよう検討する

問 町には90の自治区があるが、そのうち19の自治区が限界集落（住人の半数以上が65歳以上の高齢者である集落）となっている。

町には「一地域一ふるさとおこし事業補助金」制度があるが、補助金の上限が10万円と小額である。これを100万円位まで引き上げ、地域の活性化を促進させる考えはないか。

町長

「一地域一ふるさとおこし事業補助金交付事業」は、平成3年に始まり、今まで61件、600万円ほど補助金を交付している。

地域や集落、各種団体等が地域の活性化のため、自主的にさまざまな活動を行うことはすばらしいと思っている。ある程度の事業規模となるよう検

清野興一 議員



限界集落の解消を

討する。

問 選挙公約である福祉タクシーの運行を早く行うべきである。

公共交通手段のない地域に安くて便利な移動手段を設けることは町の責

任である。事業開始はいつころか。

健康福祉課長

タクシーのような形態とするか、町民バス路線を拡充し対応するか、現在検討している。来年度に事業を開始したい。

問 特別敬老祝金の変更は町の理念に逸脱しないか

答 所期の目的は達成された

荒海清隆 議員

万人に占める百歳以上の人の割合）は県内でもトップクラスである。したがって、所期の目的は達成されたものと考えている。今後は特別敬老祝金の金額を30万円とし、医療費の自己負担分の無料化、散髪、紙オムツ券の給付、福祉施設利用の際の助成を行うと考えている。

問 ミネラル野菜と一般野菜を「よりっせ」で販売する計画があるが、買う側に混乱が生じはないか。

経済振興課長

一般野菜の出荷にあたっては、品質を確保するため、土壌診断を実施すること、町が示す栽培・防除の基準に沿うことなどの生産基準を設けている。また、組織体制でこれらの基準を守ってもらうため、この組織に加入してもらうことを条件にしている。

陳列については、ミネラル野菜の陳列台の隣に一般野菜の陳列台を設け、それぞれの商品が区別できるようにする。

問 特別敬老祝金（百歳で100万円を支給）に関する条例の改正について問う。

「百歳への挑戦」に取り組み、トータルケアのまちづくりを推進してきたわが町にとって、まちづくりの理念を逸脱するものと思うがどうか。

町長

平成21年12月1日現在町内に百歳以上の方は11人おり、百寿率（人口10



山梨県内でのイベントで健脚を披露する佐藤キンさん(101歳)

問 町長交際費は適切に支出されているか

答 支出基準に基づき支出している

多 賀

剛 議員

問 「町長交際費支出基準」は適切に運用されているか。香典に10月末時点で36件、23万円支出している。この支出の基準、根拠はどうなっているか。

町長

36件の内訳は、元学校薬剤師、現職自治区長の2件と一般町民34件である。

「町長交際費支出基準」

に基づき支出しているが、一般町民については、その基準で定める「その他町長が特に必要と認める者」の規定を適用している。

問 緊急雇用対策事業の実績と効果はどうだったのか。今後の対応はどうするのか。

また、町内の企業、事業所に対し、新規雇用した場合、奨励金を出さないなどの支援策は考えられないか。



町のホームページで公表している町長交際費

経済振興課長

県の補助事業と町の単独事業合わせて21事業、44人の雇用を創出した。大きな効果があったと認識している。来年度についても補助事業の要望書類を県に提出している。就業支援については、高卒者に厳しい就職状況であり、町長が町内の事業所に向き、就業の場の確保を要請する。また、奨励金も含め、その他の支援も検討する。

常任委員会

管外行政調査報告

総務

察した。

両町村とも町民・企業をまちづくりのパートナーとして位置づけ、連携しながらまちづくりを行っていた。

また、コストの圧縮、民間委託、簡素で機能的な組織づくり、経営の視点の導入などの行財政改革を行っていた。本町においても、

歳入の伸び悩みや高齢化の進行が予測され、行財政改革により財政の健全化を図る必要がある。

ただし、民間委託により本来行政が担うべき住民サービスへの責任転嫁や適切な範囲を超えた住民負担の増加が生じないよう配慮が必要である。

経済

町を視察した。

栗原市は、平成20年6月に発生した岩手・宮城内陸地震で死者13名など多数の被害を受けている。

山間部の災害現場はまだ地震被害の面影を残していた。山間部の多い本町にとつて、山間部での被害状況の把握や避難体制の確立、また援助・支援体制の充実が必要である。

飯豊町は、高齢化・過疎化など本町と同じような状況にある。その中で地域住民が農家民宿や特区によるどぶろくづくりなどで積極的に地域活性化の取り組みを行っている。高齢者や事業主のやる気やいきがいをうまく引き出していた。



栗原市の災害現場

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は「にしあいづ健康ミネラル野菜普及会」の会長として活躍されている武藤佐代子さん（柴崎）です。



ミネラル野菜の普及に活躍する武藤佐代子さん

プロフィール

住所：柴崎（新郷）
家族構成：夫と娘夫婦の4人暮らし
趣味：華道

これまでの活動で思い出に残っていることは何ですか。

「よりっせ」ができる前に商業団地で行っていたプレハブの直売所での当番は大変でした。思えば、慣れないことでしたが、やりがいがあり、会員同士が協力し合えた楽しい経験でした。

「よりっせ」でミネラル野菜とともに一般野菜も販売されます。どう思いますか。

農法はさまざまあります。一般野菜を出荷される方も基本にあるのは、お客様に安心・安全でおいしい野菜を提供したいということだと思います。

「西会津の野菜はおいしいね」と消費者の皆さんに言ってもらえ、西会津をPRできる存在に共になれればと思います。

「西会津の野菜はおいしいね」と消費者の皆さんに言ってもらえ、西会津をPRできる存在に共になれればと思います。

議会や町に望むことは何ですか。

それぞれの立場で理解し合い、連携することで不可能が可能になることもあると思います。

「西会津に住んでいてよかった」、「西会津はいいね」と言われる町になるために、互いに頑張る

てほしいと思います。

ミネラル野菜普及会は設立10年目を迎えました。会長としての抱負をお聞かせください。

普及会は会員の皆さんの努力と強い団結で成り立っています。

農業は自然から教わるものがたくさんあります。初心を忘れずに会員の皆さんと新しい時代に一歩踏み出していききたいと思っています。

「ご協力ありがとうございます。今後も活躍を期待しています。」

議会の動き

協議または調整の場

全員協議会

「全員協議会」という言葉を耳にしたことがある方も多いと思います。

しかし、その内容については知らない方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は「全員協議会」について紹介します。

全員協議会は、町が議会に提出予定の議案について事前に議員の意見を知りたい場合や町政の重要事項について議員に説明したい場合など町が議員に説明する場合のほか、議会が議会内部の意思統一を図るため、議員間で協議したり、意見の調整を行なう場合に開催します。

例えば、最近開催した

案件には、次のようなものがありました。すべて町からの案件です。

総合計画案について議員に質疑や意見を求め、意見に対する対応などを説明しました。

役場組織の見直しについて

組織変更の概要やスネジュールを説明し、議員に質疑や意見を求めました。

新郷保育所の群岡保育所への統合について

今年4月から統合予定であることを説明し、議員に質疑や意見を求めました。

議会への意見募集

町議会では町民の皆さまから議会に対する意見やご要望を随時受け付けております。電話や手紙、電子メールなどのような方法でも構いませんので、議会事務局あてに、お気軽にお寄せください。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

昨年は、国政では自民党から民主党へと政権が交代しました。町政でも町長の交代がありました。

年末には大雪により耐雪型パイプハウス18棟が倒壊しました。被害に遭われました農家の皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

さて、今年の新春交歓会は例年より多くの方が参加され、盛大に行われました。いよいよ新たな年が始まったという感じがします。

今年は、新しい総合計画がスタートします。町民・議会・行政で、協働のまちづくりを進めて行きます。

(目黒 一)

にしあいづ議会だより

No. 108

発行 福島県西会津町議会 編集 議会広報特別委員会

〒969・4495 福島県耶麻郡西会津町野沢字下小屋上乙3261 ☎0241・45・4537 e-mail gikai.nishaiizu@kouiki.kitakata.fukushima.jp

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長, 委員) and Name (荒海 清隆, 青木 照夫, 目黒 一, 多賀 剛, 武藤 道廣)